

第4期市川市地域福祉計画 進行管理事業 令和4年度進捗状況について

各事業の評価方法（A評価を100点満点とし、以下、B評価75点、C評価50点、D評価25点として配点）※目標達成度は基本目標ごとに点数の合計を満点数で除し、100を乗じて得た割合（小数点以下、四捨五入）
 A 十分達成できた（75%以上） B 概ね達成できた（50%以上75%未満） C やや不十分だった（25%以上50%未満） D 不十分だった（25%未満）

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちづくり

【目標達成度】	相談支援包括化推進会議を年3回開催し、検討、協議を重ね、令和5年7月から「重層的支援体制整備事業」の実施を決定した。		
94% (前年度81%)			
事業名	評価	評価理由等	
1 地域福祉に関する情報発信	B	福祉部の組織編成に伴うWebページの移管などWebページの整理を行うことができた。	
2 相談支援体制の整備	A	「重層的支援体制整備事業」の実施に向け、新たに実施する事業の具体的な検討を行うことができた。	
3 成年後見制度利用支援事業	A	相談件数目標値：1,570件 → 実績：2,815件 PR等活動回数目標値：12件 → 実績 15件	
4 福祉サービス苦情解決事業	A	福祉サービス苦情解決事業運営委員会を開催するとともに、第三者委員が千葉県主催の研修に参加できた。	

基本目標Ⅱ 参加と交流のまちづくり

【目標達成度】	コロナ禍で2年間実施できていなかった「福祉避難所の開設訓練」を実施することができ、要配慮者の受入体制など、関係部署と情報共有ができた。		
86% (前年度79%)			
事業名	評価	評価理由等	
5 地域ケアシステム推進事業	B	コロナ禍における拠点再開に向けた支援を継続し、全ての地域ケア拠点が再開した。	
6 コミュニティワーカーの配置	B	コロナ禍で一部の会議や活動等が中止になったことにより、例年通りの活動が出来なかった。	
7 学校と地域の連携推進	A	学校運営協議会の開催数が増え、地域学校協働活動推進員が主体的に企画、運営するなど意識に変化があった。	
8 自治（町）会の加入促進	B	令和5年度の加入世帯数が前年度と比較し、減少した。	
9 避難行動要支援者対策事業	A	避難行動要支援者名簿登録者数が目標値を達成した。	
10 福祉避難所	A	新規の民間事業者との協定締結はなかったが、福祉避難所の開設訓練、マニュアルたき台の完成、備品の配備を行った。	
11 ボランティア・NPO活動に関する情報提供	B	Web媒体の統合に伴い、情報提供の方向性を定めたが、旧サイトからの意向希望団体が少なかった。	

基本目標Ⅲ 安全と居るおいのあるまちづくり

【目標達成度】	現地調査の再開に加え、申請書類を見直したことにより、申請手続き上の不備を削減とともに、適正な給付であることを確認できた。		
100% (前年度100%)			
事業名	評価	評価理由等	
12 住宅改修費の助成事業	A	申請目標値：1,260件 → 実績：1,131件 申請書類の見直しにより、提出書類の不備が減った。	

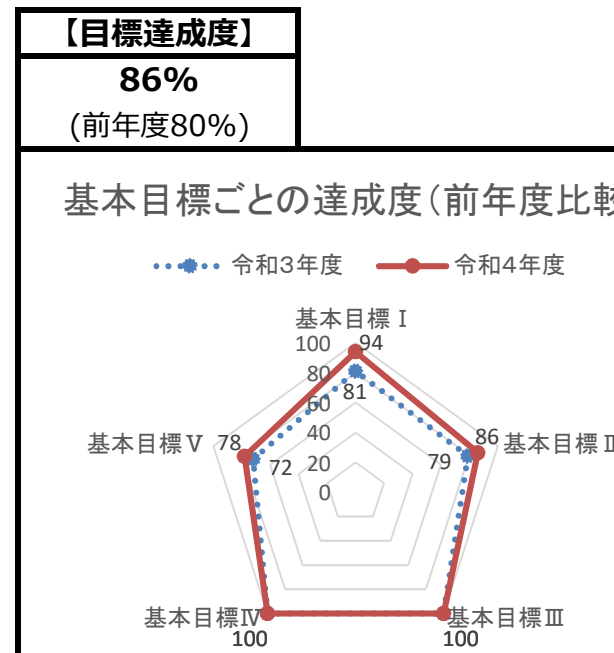
基本目標Ⅳ 自立と生きがいづくり

【目標達成度】	自立相談支援事業における新規相談受案件数が、前年度と比較して、約10%増加した。		
100% (前年度100%)			
事業名	評価	評価理由等	
13 生活困窮者自立支援	A	新規相談件数目標値：490件 → 実績：827件	
14 移動サービスの支援事業	A	福祉有償運送事業者数の増減はなく、登録8事業者のうち、5事業者の更新登録について協議し合意を得た。	

基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤づくり

【目標達成度】	地区推進会議を始めとして、感染症予防対策を講じて、会議を開催するなど、前年度と比較して交流や情報共有の場が確保できた。		
78% (前年度72%)			
事業名	評価	評価理由等	
15 地域福祉の啓発	B	いちかわ支え合いネットといちかわボランティア・NPOWebの統合に向け、関係課と具体的な検討を行うことができた。	
16 地域活動の担い手養成研修	C	研修を実施したものの、コロナ禍で受講者数が目標に達しなかった。	
17 相談員育成の支援	C	「てるぼサロンまつり」は実施したが、コロナ禍で相談員研修は実施できなかった。	
18 地域活動応援制度の創設・実施	C	コロナ禍で地域活動自粛の流れが継続しており、制度の利用、提供に関する問い合わせがなかった。	
19 地域活動拠点の整備	A	公の施設の拠点等で活動場所等を確保した。	
20 団地集会所の開放	A	自治会からの申請に対して、すべて使用を許可し、使用料を免除した。	
21 地域資源のネットワークづくり	A	コロナ禍で開催できなかった地区推進会議を3年ぶりに開催した。	
22 個人情報適正活用支援	A	引き続き、市公式Webサイトで個人情報に関するリーフレットを掲載し、周知を行った。	

計画全体



令和4年度の達成度は、令和3年度より6ポイント高い86%となった。

「基本目標Ⅰ」において、4つの項目うち3つが「A」評価となり、前年度から13ポイント上昇した。理由としては、「成年後見制度利用支援事業」において、地域共生社会の実現に向け、尊厳のある本人らしい生活を継続し、地域社会に参加できるようにすることを目的に「市川市成年後見制度利用促進基本計画」を策定したことや「相談支援体制の整備」において、相談支援包括化推進会議の開催など、庁内関係部署や支援関係機関との協議を重ね、令和5年7月より、「重層的支援体制整備事業」を実施することとなったことは特筆すべき事項である。